



第1回目のテーマは「コロナ禍での IELTS との向き合い方」のクロストークとなっております。コロナパンデミックの中、いかにして IELTS と向き合い、日々を過ごされたのか、受験生お二方から生のお声をいただきました。※ZOOM にてのインタビューをまとめております。今回は「コロナ禍での IELTS との向き合い方 ～前編～」をお届けします。

「とりあえず目標スコアが取れるまで頑張れ」と言われてー

- どうもこんにちは、本日はよろしくお願いします。
まずは自己紹介をお願いします。
T 鷹野寧寧（たかのねね：以下「T」）と申します。昨年春に東京の大学に入学しましたが、現在はコロナ禍の影響で実家にて完全オンライン授業。出身は兵庫県の神戸です。出身高校はサッカー選手の岡崎氏と同じです。（滝川第二高校）。
S 瀬川 直輝（せがわなおき：以下「S」）です。東京の創価大学1年生ですが、鷹野さんと同じく現在は実家にて完全オンライン授業を受けております。滋賀県出身です。
- ではさっそくですが、IELTS の受験目的・きっかけはなんでしょうか？
T アメリカの大学への編入学のためのスコアが必要だったためです。
S IELTS を受けるきっかけは大学の留学プログラム（イギリスと日本の2つ大学の学

位を4年間で取得できるダブル・ディグリープログラム前の Foundation Course 入学許可のために必要な)でのスコア提出のためです。

- 目標スコア取れましたか？ 現在の獲得スコアをお教えてください。

T 現在の獲得スコアは Listening5.5 Reading6.5 Speaking6.0Writing5.5 Overall 6.0 です。大学から指定のスコアは取れましたが、奨学金申請のためにもう少しスコアアップを狙っています。

S 僕の獲得スコアは Listening 6.5, Reading 5, Writing 5.5, Speaking 6.0, Overall 6 です。僕もこの前留学希望の大学からスコアの「合格通知 (Foundation Course 入学内定)」をやっともらいました！ (後日、Listening 6.0, Reading 5.5, Writing 6.5, Speaking 5.5, Overall 6 を獲得し正式に学位プログラム前の Foundation Course に合格)]

- お二人とも提出先の海外大学の合格ラインに達したということでおめでとうございます。では、IELTS はこれまで何回受験されましたか？

T ペーパーの IELTS が 1 回と、コンピューターで受験する IELTS が 約 5 回です。

S 僕はペーパーで 6 回受験しました。

- 目標スコアの達成までには、勉強はどれくらいの期間を要しましたか？

T 塾の先生からは「お金がかかってもとりあえず**目標スコアが取れるまで頑張れ**」と言われて受けました。初めて受けたペーパーでの IELTS では意外とスコアが取れたのですが、そこからコンピューターで受験する IELTS に移行した際は、ペーパーとの違いに戸惑って伸び悩みました。特に Writing セクションに苦戦しました。**コンピューターで受験する IELTS の Writing は、打ち込んだ単語の文字数が出る**のが TOEFL と同じだけど、ペーパー対策で紙に書いて練習をしていたので、自分の文字の大きさを判断していた文章構成が把握できず、最初は戸惑いました。



- 体で覚えていたものとのギャップに戸惑ったわけですね、その後コンピューターで受験する IELTS 操作には慣れましたか？

T はい、3 回目くらいからは慣れて、目標スコアに近づいてきました。この間でいたい 3 ヶ月くらいはかかりましたね。

- 3カ月間、みっちり IELTS を勉強されましたか？

T 学校があるのでみっちりではなく、試験日を先に定めてしまってそこに向けて学習スケジュールを立てて勉強していました。

- なるほど、先に試験日を定めて自分を追い込む作戦でしたか。瀬川さんはいかがですか？

S 僕は学習期間は約1年くらいです。大学の留学プログラムに提出するための、昨年夏までの一次の目標スコアは受験から3回目くらいで達成しましたが、夏以降の第二次目標スコアの達成には伸び悩みました。4・5回目受けてやっとぎりぎり達成手前のところまでいきましたが、夏からおよそ2ヶ月くらいかかりました。



それぞれの IELTS テスト対策—

- IELTS の勉強に当たっての対策は？（どんな勉強方法・教科書）

T サンプルテストを使用しました。勉強する時間もなかなかなく、過去問も買っても参考資料が限られているので、私はできるだけ過去問に近い問題を解くことで対応しました。

- 学校の授業で IELTS の対策などはありましたか？

T 学校では TOEIC の授業はありましたが、IELTS や他の検定試験の対策授業はありませんでした。

なので勉強は独学で頑張りました。最初はどうしたらいいのか分からなかったのでとりあえず「過去問やっときゃいいんやろ」で感じで始めました。笑

- IELTS の参考書とかも出ていますが、そちらは購入されましたか？

T いいえ。高校の時に「必勝法」と書いてるもので上手くいった試しがないので。笑 過去問を引っ張り出してきたり本を買ったり、あとネットで勉強方法を探したり、サンプル問題を解いたりしましたね。過去問を解くことで Reading は結構スコアが伸びました。

- なるほど、Reading 以外のセクションはどうやって底上げしたんですか？

T 勉強する教科を絞って、“あまり点数が上がらないものはほっておこう”と思い、比較的得意な Reading と Listening だけガッツリやってみました。

- 弱いセクションを得意科目でカバーする作戦ですね。

T そうですね。

- →瀬川さんは、IELTS の勉強に当たっての対策はいかがでしたか？



S 僕の大学では週二回の IELTS の授業があったり、社会学の勉強や、他の英語の授業で勉強ができました。また同じ留学プログラムに参加していた友達と毎週スピーキングを zoom で練習したりしていました。あとは夏休みに大学主催で行う「IELTS 集中講座」で、1日6時間を1週間続けて勉強するなどしました。

- 大学でのフォローアップがすごく充実していますね。夏の講座はまさに塾の「夏期講習」みたい。

S そうですね、通っている大学が語学全般に力を入れていて、関東だと東京外国語大学に次いで専攻できる外国語が多いんです。語学に力を入れた大学なので、各外国語試験のフォローアップが手厚いです。あとは Speaking は友達と先輩が予定を組んで一緒に取り組んでくれたので、強制力のある中で自分に負けずに出来たり、Listening ・ Writing も授業があったのでそこで勉強できました。

- とても手厚いですね、鷹野さん、びっくりしすぎて口が開いてますよ笑

T 失礼しました。笑 すごく手厚いですね、私はほぼ独学だったので。。

- 独学でのスコア達成もとてもすごいですよ。

「向き合いたくない！」って気持ちが強くて —

- お二人それぞれ、苦手な科目はありますか？

T Speaking は苦手ですね、伸び悩みました。Reading は過去問をすればそれなりには伸びると思いますが、Speaking は対策が難しかったです。

S 僕は逆に不得意分野は Reading でした。僕は自分に甘い人なので「向き合いたくない！」って気持ちが強くて、Reading よりも他の教科を伸ばすのに頑張りました。

- 鷹野さんと同じで弱いものを得意科目でカバーする作戦ですね。

S そうですね。

- 使用した教科書や参考書があれば教えてください。

T 買った教材は、IELTS ACADEMIC14 という過去問集です。

S 使用した参考書は、

IELTS 教科書 : The Official Cambridge Guide to IELTS Student's Book with answers, 14 IELTS ACADEMIC WITH ANSWERS, 15 IELTS ACADEMIC WITH ANSWERS,

旺文社 IELTS ブリティッシュ・カウンシル公認問題集

旺文社 実践 IELTS 英単語 3500 International English Language Testing System

です。

「残り時間の把握」が勝負一

- 日本でも IELTS を実施している団体はいくつかありますが、なぜ JSAF (ジェイサフ) の IELTS を選択されましたか？

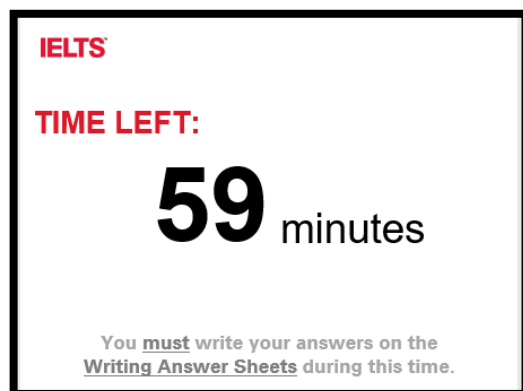
T コロナウイルスのパンデミックのために TOEFL テストが全キャンセルになったあと、なかなか他のテストで予約が取れなくなったため、IELTS が予約出来るので選びました。

そしてその中でも JSAF-IELTS の HP は他のテストセンターのサイトよりも予約画面が見やすく選びました。IELTS の予約もしやすかったです。

S 僕は留学希望のバッキンガム大学が IELTS のスコアしか認定されないのを選びました。そして大学の教授から JSAF-IELTS の申込みを教えてくださいました。教授曰く、「他のテストセンターでの受験よりも時間の知らせ方がわかりやすい」らしく。

- テスト当日、試験会場内での「カウントダウンタイマー※」のことですか？

S そうです、JSAF ではテスト中の残り時間の知らせ方が丁寧なので試験に集中しやすいとのことを最初にきいていました。実際試験教室の前にプロジェクターで大きく残り時間が表示されていたので、テストの時間配分を考えやすかったです。



↑「カウントダウンタイマー」
テスト中はプロジェクターにて教室前方に大きく映し出されている。

- JSAF-IELTS の HP について改善してほしい点がありますか？

T 最初、HP に載っている受験確認の案内が発見しにくかったです、コンピューター試験とペーパー試験それぞれたくさんの日程があがっているのでどれを見たらよいか分かり辛かったですね。

- JSAF-IELTS のその他申込みについて苦戦した点がありますか？

S 申込手順は見易かったです。申込手順は、サイトで言語設定が変える事ができるので、どのようなバックグラウンドを持つ人でも申し込みやすいと感じました。僕は PC 操作が苦手なのでパスポートの写真のファイル形式を変えるのに時間がかかりました。最終的に 2 時間くらい。。。30 分以内に申し込みを完了させないといけないので何度も挑戦しました。

T JSAF の HP はアカウント登録もテストの申し込みも、TOEFL よりも日本語での案内が充実している分、非常にやりやすかったです。ただ私も写真のアップロードに手こずりました。1 回登録するとあとは簡単になるので、それには助かっています。

- 申し込みは最初が肝心ですね、HP の改善も検討します。

>>> 「コロナ禍での IELTS との向き合い方 ~後編~」へ続く

前半ではお二人の近況、受験対策、申込までの経緯についてをお伺いしました。コロナ禍で状況が一変し、試行錯誤をしながらの学生生活の様子をうかがい知ることができました。

次回の後半では、実際に JSAF (ジェイサフ) にて IELTS を受験しての感想、これから受験される方へのアドバイス、また将来へ向けてのお二人の夢について紹介いたします。

どうぞお楽しみに！